

ネットの ダークマター

5月9日
18:15~19:45 (水)

講師：福井 健策

弁護士 (日本・ニューヨーク州)

日本大学芸術学部・神戸大学大学院客員教授

場所：日吉キャンパス 来往舎1F

シンポジウムスペース

対象：塾生・教職員 (無料 予約不要)

問い合わせ：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

止まらない
海賊版で
マンガ・アニメ
は滅びるのか？

2017年、オンライン海賊版はそれまでとは異次元と言える急拡大を遂げた。現在、最大のサイトの月間訪問者はのべ1億6000万人。ほとんどは国内利用者で、技術に法律が追い付かず対策の目途は立たない。我々は、著作権などあっても役に立たない時代に突入したのか？マンガ・アニメ、そして情報社会のゆくえを探る。



福井 健策

弁護士(日本・ニューヨーク州)

日本大学芸術学部・神戸大学
大学院客員教授

1991年東京大学法学部卒

1993年弁護士登録

(第二東京弁護士会)

米国コロンビア大学法学修士課程修了(セゾン文化財団スカラシップ)、シンガポール国立大学リサーチスカラーなど経て、現在、骨董通り法律事務所代表パートナー。著書に「著作権の世紀」「誰が『知』を独占するのか」(集英社新書)、「エンタテインメントと著作権」全5巻(シリーズ編者、CRIC)、「『ネットの自由』vs.著作権」(光文社新書)、「18歳の著作権入門」(ちくまプリマ新書)ほか。国会図書館審議会会長代理、「本の未来基金」運営委員、「さいとう・たかを劇画文化財団」理事、think C世話人、東京芸術大学兼任講師などを務める。

